

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (7 — 2)

団体名	(特非) 高砂海文化21C	代表者名	(職名) (氏名) 代表理事 小田 和美
事業名	海洋プラスチックごみ問題を伝える、学ぶ、ヨットでのごみ回収実証。		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」 「毎○曜日」等で 記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
1月18日	高砂沖播磨灘	2 (2)	堀川運河にて海洋プラスチック回収実験実施
6月23日	高砂沖播磨灘	9 (7)	①シニアヨット体験実施。堀川運河の歴史遺構見学、テキストで海の環境について説明（海洋マイクロプラスチックは身近にあることを実物で説明）
7月6日	高砂沖播磨灘	26 (7)	②障がい児親子ヨット体験の実施。引率の父兄には海の環境についてテキストで説明をする。（人数はヨット内見学のみの方と社協担当含む）
8月11日	高砂沖播磨灘	10 (7)	③ガールスカウトヨット体験実施。工業松右衛門発明帆布装着の北前船とヨットも同じ原理、それを操船しながら海洋マイクロプラスチックの実態を高砂に漂着する実物で説明する。
9月14日	堀川運河	75 (8)	④MHレガッタ参加のヨットセーラー代表艇長へテキストで海洋マイクロプラスチックの現状と未来を説明、高砂漂着のマイクロプラスチックをランタンに貼り実情を説明。

<効果と成果>

昨年度の反省を踏まえて、高砂市社会福祉協議会、高砂地区まちづくり協議会、ガールスカウト高砂団との協働で参加者数を確保、また計画通り上期集中型でヨットを利用体験行事を実施した。

行事案内として、アナログチラシに加えて各団体の機能（Instagram、口コミ等）を利用、NPOホームページをリニューアル、Instagramのテスト公開、リピーターメール配信等行う。また地元小学校、中学校、高等学校へ出向き校長、教頭先生方へヨット体験と海洋マイクロプラスチック課題を紹介するプレゼンテーションを実施した。

行事参加者には、海の環境テキストを説明、その後ヨットに乗船、堀川運河、播磨灘で海洋プラスチックの海面学習と生分解性プラスチック製造工場等、環境関連工場群を海から見学、住む街の地勢も知って頂いた。ヨットが北前船と同じ原理で動くことを操船を通じて体験しながら高砂の海の歴史にも触れて貰う、またヨットはスポーツある等も実感される。

参加の皆様からは海洋プラスチック問題が身近にある事をヨット体験をしながら知る事が出来るユニークな行事から、海の環境を考える良い機会になった、プラスチックの処理等には今迄以上に気を配るなど印象をうかがった。

<今後の展望>

・海の環境、その中に海洋マイクロプラスチックがあり、それが高砂市向島公園の砂浜に漂着していることもわかる。これを小学生の夏休みの課題対応に活かせる可能性があると思われる。また中学高校生には年間を通じた研究課題となり得る可能性もあるなど思料。

・海や運河での採集においてヨットを道具に利用し、またヨットが風で動く原理を操船たいけんすることができる。ただ、これらは我々側の考えるもので、対象となる小中高生やその保護者がどう考えるか。校外学習のひとつになり得るかを含め課題である。

・工業松右衛門生誕の地、松右衛門帆を発明制作するモノづくりの歴史と現在世界の一流品を作る工場群
環境関連メーカーとの連携を図りたい、既にサントリーやカネカは我々の活動を理解されているので、
これらをこの事業の本質でもある「地域とのつながり」に活かしたい。

<収支決算書>
(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	350,000
参加費等	53,562
合 計	403,562

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	応募行事ヨット使用料	180,000	140,000
	マイクロプラスチック回収実験ヨット 使用料	40,000	34,000
	環境講座講師	21,000	21,000
	その他（消耗品等）	50,664	50,000
	小 計	291,664	245,000
間接経費（一般管理費）		111,898	105,000
合 計		403,562	350,000